



第44期  
第2四半期ご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



すべての業務とつながるひろがる  
**奉行クラウド**

 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

証券コード：4733

# ひと目でわかる! OBC

OBCは、“業務のデジタル化”をキーワードに『勘定奉行クラウド』をはじめとする『奉行クラウド』『奉行クラウドEdge』を主力として、お客様の業務効率化に貢献し、企業業務スタイルに変化をもたらすサービスを提供している会社です。

## OBCのコアコンピタンス

選択と集中による5つの強みが、企業としての専門性を高め、他社との差別化を図ります

企業の業務サービス  
(会計・人事・給与等)  
にフォーカス

中堅及び中小企業  
にフォーカス

Microsoft  
テクノロジー  
にフォーカス

パートナー戦略  
にフォーカス

ブランド戦略  
にフォーカス

## OBCのクラウド製品

業務クラウド国内No.1ブランド「奉行シリーズ」

小規模・中小企業向け  
基幹業務クラウド



従業員向け  
働き方改革ソリューション



中堅・上場企業向け  
クラウドERP



奉行クラウドと奉行クラウドEdgeの5つの強み

- 1 **今まで以上の高品質** 機能性・スピード・操作性
- 2 **いつでも どこでも** テレワーク多様な働き方対応
- 3 **つながる ひろがる** データ連携APIエコノミー
- 4 **職業専門家ライセンス** 専用ライセンスを標準提供
- 5 **次世代マイクロソフトテクノロジー** ネイティブ開発による安心・安全

導入社数 >> 累計 **69** 万社

奉行クラウド・奉行クラウドEdge >> 累計導入システム **69,900** システム以上

※2022年9月現在

## 株主の皆様へ

OBCは業務にイノベーションを起こしお客様に感動をお届けします



代表取締役社長  
和田 成史



代表取締役副社長  
和田 弘子

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当第2四半期累計期間における情報サービス産業は、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）やクラウドサービスの利活用に対する注目度は依然高く、これらに貢献できるサービスの提供に強い期待が寄せられております。このような状況の中、当社は全国のパートナー企業とともにDX化推進を支援する活動母体「バックオフィスからDX化プロジェクト」を推進し、DX化によって業務に変革をもたらし、さらなる経営力強化を実現するための支援を行ってまいりました。

これからも当社は、「顧客第一主義」を念頭に置き、「業務にイノベーションをお客様に感動を」をミッションとして掲げ、広く顧客及びパートナー企業に、今まで以上に利便性や信頼性を備え、高いご満足をいただけるクラウドシステムや業務サービスの企画・開発、サポート＆サービスを提供することに努め、企業のDX化を後押しする活動を行ってまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 当第2四半期の業績

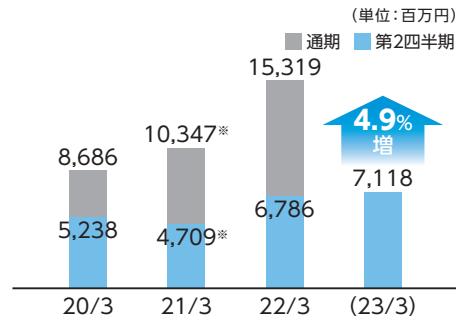
売上高 **162億24**百万円  
(前年同期比  $\downarrow$  0.3%減)

経常利益 **74億53**百万円  
(前年同期比  $\downarrow$  1.3%減)

四半期純利益 **51億48**百万円  
(前年同期比  $\downarrow$  1.3%減)

# 品目別の状況

## ソリューションテクノロジー



### ◆当第2四半期の状況

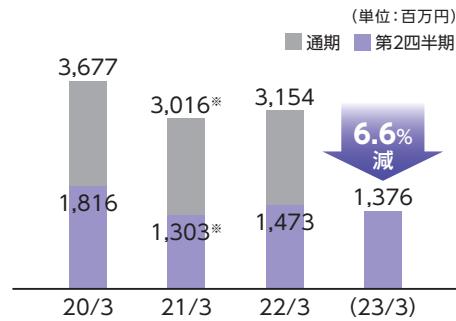
ソリューションテクノロジーの売上高は7,118百万円（前年同期比4.9%増）となりました。奉行クラウドEdgeが引き続き安定的な伸びをキープするなどクラウドの売上が増加した反面、奉行8シリーズのバージョンアップ需要の反動減によりオンプレミスの売上は減少しました。



### ❖事業内容

- ・奉行シリーズ等当社が開発・提供するサービス（クラウドとオンプレミス）クラウド…SaaS等、クラウド環境下で提供するサービス
- ・オンプレミス…顧客の自社内のサーバー等にインストールして利用するソフトウェア

## 関連製品



### ◆当第2四半期の状況

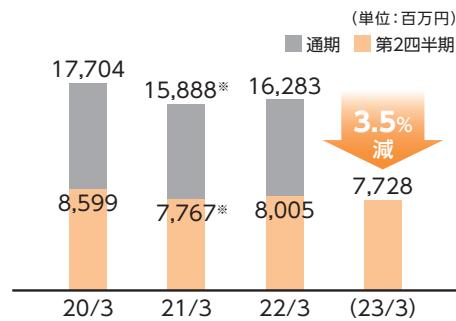
関連製品の売上高は1,376百万円（前年同期比6.6%減）となりました。電子化などの流れによりサプライ製品の減少や、奉行連動ソリューションのバージョンアップ需要が減少しました。



### ❖事業内容

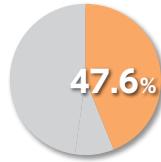
- ・当社の奉行シリーズで使用されるサプライ用紙（専用紙等）の物品販売
- ・奉行シリーズと連携する他社ソリューションを当社を通じて販売する仕入取引

## サービス



### ◆当第2四半期の状況

サービスの売上高は7,728百万円（前年同期比3.5%減）となりました。保守契約料がクラウドへのシフトにより減少し、インストラクターの導入支援サービスは増加しました。

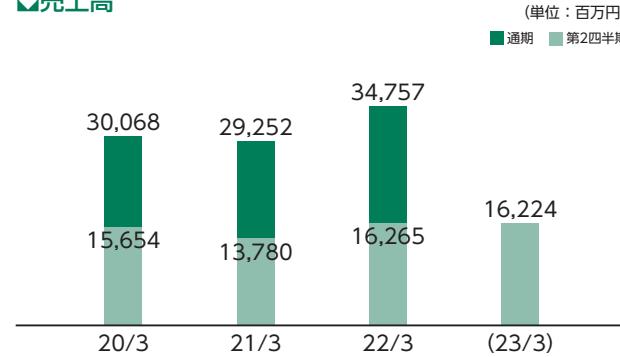


### ❖事業内容

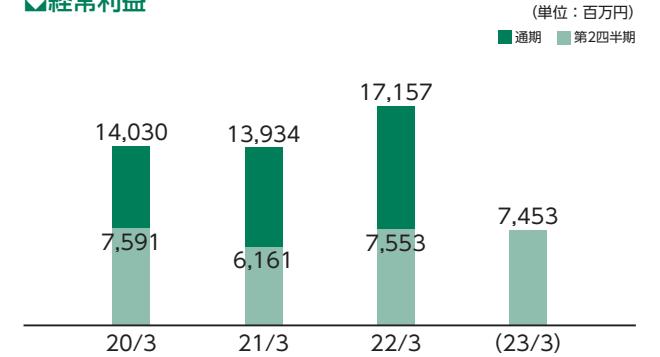
- ・奉行シリーズ等の当社が提供するサービスの保守契約
- ・奉行シリーズ等の当社が提供するソリューションテクノロジーの操作指導や集合型スクール等のユースウェア業務

# 財務ハイライト

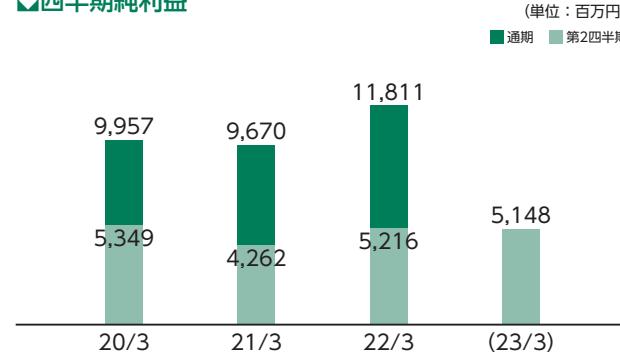
## ◆売上高



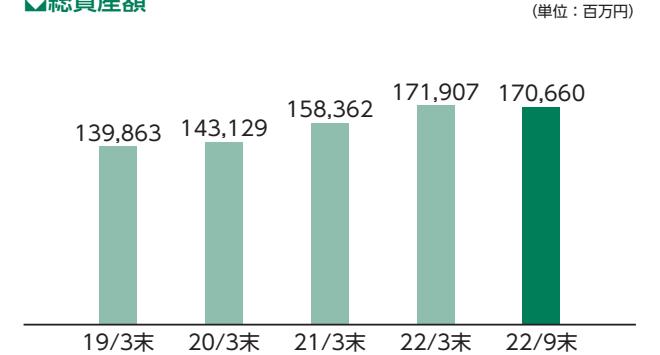
## ◆経常利益



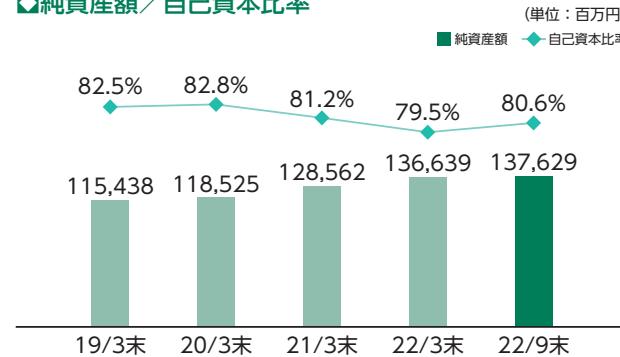
## ◆四半期純利益



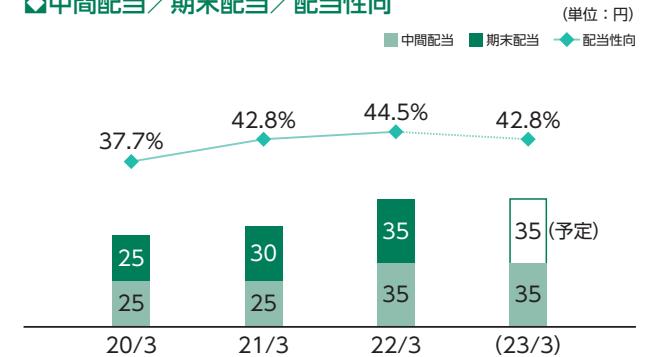
## ◆総資産額



## ◆純資産額／自己資本比率



## ◆中間配当／期末配当／配当性向



\*「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前事業年度の期首から適用しており、この影響により、2021年3月期の実績については当該会計基準等遡って適用した後の数値となっております。

TOPICS

1

# 電帳法とインボイスの2大制度改正対応をきっかけに 業務の効率化を支援する OBCの「奉行クラウド」ソリューション

2022年1月に改正され、2024年1月に義務化される改正電子帳簿保存法(改正電帳法)と、2023年10月から施行されるインボイス制度への対応は、中堅・中小企業にとって喫緊の課題です。こうした中OBCは、バックオフィス業務から企業のDX化を支援することを目的に、それぞれの法改正に向けた「徹底対策サイト」をホームページ上に開設。2大改正の理解促進を図り、デジタルインボイス時代に向けた強い経理部門実現のための、ニーズに沿った経理業務の効率化を、様々な「奉行クラウド」ソリューションで支援してまいります。

徹底対策サイト <https://www.obc.co.jp/landing/kaisei-navi>

**奉行クラウド 販売管理DXSuite**

**債務・支払管理**

債務管理システム  
**債務奉行クラウド**  
債務管理・支払業務の効率化

**債権・請求管理**

Edge  
**奉行 請求管理電子化クラウド**  
請求書発送業務効率化 デジタル化

**生産性・精度向上  
経営力強化**

**インボイス  
制度**

債権管理システム  
**債権奉行クラウド**  
債権管理・入金消込業務の効率化

**電子取引  
電帳法 改正**

財務会計システム  
**勘定奉行クラウド**  
電子帳簿保存法への対応

**証憑収集オプション**  
証憑収集・保管の効率化

**奉行クラウド 経理DXSuite**

TOPICS

2

# 経営課題に対する具体的なDXの取り組みや解決手段を紹介 ますます重要性が高まるDXの今に触れる 2大イベントを開催！

## パートナーカンファレンス2022

コロナ禍により2年にわたってオンライン開催となったOBCパートナーカンファレンス。2022年は、5月から7月まで全国13都市でリアル開催しました。本イベントでは、パートナー様と共にビジネスチャンスを探るための新たなDXサービスを紹介しながら、パートナービジネスの具体的な取り組みを提案。確かなパートナーシップを再確認できた、有益な情報交換の場となりました。



開催概要	開催日程	2022年5月18日(水)～7月11日(月)
	開催場所	全国13会場リアル開催+オンライン開催

## 奉行クラウドフォーラム2022

2日間にわたってオンライン開催された奉行クラウドフォーラムでは、改正電帳法・インボイス制度の施行やペーパーレス化など、大きな環境変化の中でさらに重要度が高まる「経理DX」「総務DX」をテーマに、ノウハウや実現手法を紹介。経営・現場業務それぞれの課題解決手段としてのDXを具体的に実現する30のセミナーのほか、業務DXを体感できるハンズオンセミナーやオンライン個別相談会なども実施しました。



開催概要	開催日程	2022年10月18日(火)、19日(水)
	開催場所	オンライン開催

TOPICS

3

# 「日経コンピュータ 顧客満足度調査2022-2023」の 「ERP部門」で4年連続、通算15回目の第1位を獲得

中堅・上場企業に求められる業務要件に対応し、クラウドなど常に進化するテクノロジーを取り込みながら、競争力強化と企業成長を支援し続ける「奉行V ERP」。多くのお客様から高く評価されているERP製品・サービスのベンダーとして、OBCは4年連続、通算15回目の第1位を獲得しました。(受賞年:2005年～2011年、2014年～2017年、2019年～2022年)



## 企業プロフィール

会社概況	
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	1980年12月12日
資本金	10,519,000 千円
従業員数	954 名
役員	
取締役会長	野田 順 弘
代表取締役社長	和田 成 史
代表取締役副社長	和田 弘 子
常務取締役	唐 鎌 勝 彦
常務取締役	荻野 俊 夫
取締役	橘 昇 一
取締役	伊 東 千 秋
取締役	沖 原 隆 宗
取締役	川 西 篤 篤
監査役	黒 岡 成 一
監査役	高 橋 利 郎
監査役	阿 南 友 則

## 事業拠点 ※他8拠点

本社/東京営業部	〒163-6029 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー29F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F

## 株式の状況

発行可能株式総数	322,816,000 株
発行済株式の総数	75,404,000 株
株主数	7,555 名

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設された株主様は、左記の電話照会先をお願いいたします。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<https://www.obc.co.jp/>